

坂出市「ゼロカーボンシティ」宣言

地球温暖化対策は、私たち一人一人にとって避けることのできない喫緊の課題であります。世界各地で、地球温暖化による異常気象や自然災害が発生しており、国内においても、各所で甚大な被害を及ぼしている昨今の豪雨等水害の事例は記憶に新しいところであり、二酸化炭素等の温室効果ガスの増加により、今後もこのような水害等のさらなる頻発化や激甚化などが予測されています。こうした事態は、私たち人類やすべての生き物にとって生存基盤を揺るがしかねません。

このような状況を踏まえ、2015年に合意されたパリ協定では、「産業革命からの平均気温上昇の幅を2°C未満とし、1.5°Cに抑えるよう努力する」との目標が国際的に広く共有されました。また、2018年に公表されたIPCC（国連の気候変動に関する政府間パネル）の特別報告書では、この目標を達成するために「2050年までに二酸化炭素の実質排出量をゼロにすることが必要」と示されています。

また、政府は、昨年12月に「2050年カーボンニュートラルに向けたグリーン戦略」を含む実行計画を取りまとめ、「脱炭素社会の実現に向け、国と地方で総力を挙げて取り組んでいく」と、その取り組み姿勢を強く示しているところです。

本市としては、地球温暖化対策は緊急課題であると捉え、地球環境に配慮した持続可能なまちづくりを一層進め、次世代に「活力と魅力あるふるさと坂出」を引き継いでいくため、「2050年までに二酸化炭素等の温室効果ガス排出量の実質ゼロ」を目指す「ゼロカーボンシティ」の実現に向け、市民や事業者の皆様と連携しながら、地域全体で温室効果ガス排出量の削減対策を積極的に取り組むことを宣言します。

令和3年9月8日

坂出市長　石浦　哲一